

2021年度

授業概要

科目名	言語発達学Ⅱ			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
							3年 前期
【授業の目的・ねらい】 話しことばの3要素である「音声」「構音」「パターン」のうち、構音の障害は最も中核をなす障害要素である。言語聴覚士の仕事の大半は構音の指導であるとも言える。講義は構音指導事例を中心にその障害音の識別、発生メカニズム的などらまえから、指導の方策を立て実行していく手順を演習的に修得する。							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 構音障害の種類とその内容、検査法および治療の理念とその方法について学ぶ。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 構音障害の概要を把握、理解し、臨床場面での適切な検査・評価等を実施するための応用力を習得する。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	障害児構音の聞き取り						
2	語音の構音法、構音点、構音者の視点からの分析①						
3	構音者の視点からの分析②						
4	構音に関わる諸要因を知る						
5	構音検査法とその演習						
6	構音指導の方法①						
7	構音指導の方法②						
8	事例研究 構音指導の実際を知る①						
9	事例研究 構音指導の実際を知る②						
10	事例研究 構音指導の実際を知る③						
11	構音指導教材の工夫と活用方法例を知る①						
12	構音指導教材の工夫と活用方法例を知る②						
13	構音指導の総まとめ①						
14	構音指導の総まとめ②						
15	構音指導の総まとめ③						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】							
【準備学習・時間外学習】							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。							